

「夢見るホッケー教室 in 岩国」実施報告書

- 【趣 旨】 子どもたちにホッケーオリンピックを派遣しホッケーの楽しさを伝える共に、ホッケーを通じた相互交流と技術の向上を図る。
- なお、本事業は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上、実施する。
- 【会 場】 玖珂総合公園 人工芝グラウンド
- 【主 催】 公益社団法人日本ホッケー協会
- 【主 管】 山口県ホッケー協会
- 【期 日】 令和3年10月9日（土）、10日（日）小雨決行
- 9日（土） 9：45～10：00 開会式 10：00～11：30 初心者・小学生の部
13：30～お楽しみ抽選会 13：00～15：00 中学生の部
- 10日（土） 10：00～11：30 初心者・小学生の部 13：30～お楽しみ抽選会
13：00～15：00 中学生の部 15：00～閉会式 15：10 終了
- 【講 師】 山下学（東京2020オリンピック日本代表「サムライ JAPAN」主将）
新井麻月（元日本代表選手）
山下彰子（元日本代表選手）
- 【参加料】 無 料
- 【参加者数】 2日間74名
- （内訳） 初日：小学生以下33名（男子22名、女子11名）、中学生19人（男子13人、女子6人）
2日目：小学生以下41名（男子25名、女子16名）、中学生19人（男子13人、女子6人）
- 【来 賓】 瀧上正志（日本ホッケー協会 常務理事）
植野正則（山口県ホッケー協会 会長）
石川耕司（山口県ホッケー協会 理事長）
- 【内 容】 東京オリンピックに出場された選手の雰囲気をもつため、岩国市内の小中学生を対象に日本トップクラスの選手等を講師として招聘し、ホッケーの楽しさを伝えるとともに、ホッケーへのさらなる興味・関心を引き出すことを目的とした。また、初心者も募集し、「楽しむこと」を念頭に置いたホッケー人口の拡大を図った。

【所感・評価】

コロナ禍での開催となりましたが、参加者には事前に体調チェック等を行い、感染防止対策を講じたうえで実施しました。

小学生にとっては、全国スポーツ少年団ホッケー交流大会が2年続けて中止となっしまい、日々の練習で、モチベーションを維持する事がなかなか困難な状況の中で、この「夢見るホッケー教室」は小学生にとって、とても魅力的な企画で、まさに夢見る教室となりました。

今回は、初心者の獲得も視野に入れ、近隣の小学校3校へ全児童配布を行った。その結果2日間で38名の初心者の参加があった。講師の先生方の楽しい指導でホッケーへの関心を高めることが出来たと感じました。また経験者にとっては、オリンピック出場選手や日本代表経験のある方に直接指導をして頂くことで、スキルアップにつながったと感じました。

今後、初心者の参加者においては、ホッケー継続の気持ちをもってもらい、玖珂ホッケークラブに入部してもらうために、学校での啓蒙活動を行っていきます。

また、玖珂ホッケークラブ、玖珂中学校、高森みどり中学校の選手にとっては、今回教わったことを日々の練習に取り入れ、夢をもって今後のホッケー活動に取り組んでもらえると感じました。山口県でのホッケー競技は、まだまだ発展途上でありますので、継続して普及と強化に取り組んでいきます。



